

この人に聞く

蒲焼町、両替町、八百屋町、鉄砲町…。これらは江戸から明治時代に名付けられ、昭和の前半まで名古屋の中心部に実在した町の名前だ。歴史を感じさせるかつての町名を復活させようと取り組んでいる北見昌朗さんに、町名に付けられた意味や運動にかける思いを聞いた。

「伝馬町と聞くと熱田区を想像されるかもしれませんが、実は、今の丸の内の辺りも伝馬町と呼ばれていたんですよ」。そう話すと、北見さんはいたずらっぽい笑顔を見せた。

江戸時代に付いた町名には全て意味がある

名古屋の旧町名の復活を目指す有志の会代表
北見式賃金研究所社長
北見昌朗さん



プロフィール きたみ・まさお
1959年生まれ。名古屋市出身。82年、中部経済新聞に入社。経済記者として、経営者へのインタビューなどを担当。その後、社会保険労務士の資格を取得し、95年に独立。株式会社北見式賃金研究所（名古屋市西区）を設立。中小企業の賃金・人事問題のコンサルタントとして活躍。『愛知千年企業』（中日新聞社刊）をはじめ著書多数。

「江戸時代、宿場の重要施設である伝馬所があったから伝馬町となったのです。今も堀川に伝馬橋がかかっています」

意外と知らない名古屋の歴史

城山三郎が江戸末期から昭和初期にかけての名古屋経済界を描いた処女作『創意に生きる』の中に、「三井銀行ができるなど、明治時代の伝馬町には銀行が立ち並んでいた」という旨の記述があるという。

歴史好きになったのは、中学生のころ。担任教師の専門が歴史。中でも弥生式土器への造詣が深く、授業でも弥生時代の話をやたらと続けたのだとか。現代史は習っていないという。北見少年はその授業が気に入って、すっかり歴史が夢中になった。

郷土に愛着と誇りを歴史を知って

「熱田区の伝馬町を想像した目を向けさせたのは、四年前

から何回読んでも理解ができません。旧町名が残っていれば、きちんと歴史も伝わったはずだと思います。」

「知っているのは三英傑が出たというぐらい。意外と自分の街の歴史を知らないことに気が付きました」

「西区に城西町という地名がありますが、かつては鷹匠町でした。往時をしのばせるすてきな町名をお城の西にあるという味も素っ気もない名前になつてしまいました」

「郷土の歴史を知ることには、愛着や誇りを持つことにつながります。町名を復活させるのは名古屋人の誇りを取り戻すことでもあるのです」。

「現在の丸の内は、お堀の中という意味なのに、お堀の外が丸の内という地名になっている。おそらく東京の丸の内になん

が現在の丸の内は、お堀の中という意味なのに、お堀の外が丸の内という地名になっている。おそらく東京の丸の内になん

が現在の丸の内は、お堀の中という意味なのに、お堀の外が丸の内という地名になっている。おそらく東京の丸の内になん

が現在の丸の内は、お堀の中という意味なのに、お堀の外が丸の内という地名になっている。おそらく東京の丸の内になん

が現在の丸の内は、お堀の中という意味なのに、お堀の外が丸の内という地名になっている。おそらく東京の丸の内になん

古地図を持って旧町名めぐり

北見さんが作成した古地図（江戸時代版、明治版）は、当時の地図に現在の建物や通りの名前も記載されているため、昔と今の街の様子や町名の違いを見比べながら歩くのに便利だ。当時「蒲焼町」と呼ばれた地域が、今はどんな町に変わっているのか、実際に歩いてみた。



北見さん作成の古地図（江戸時代版）

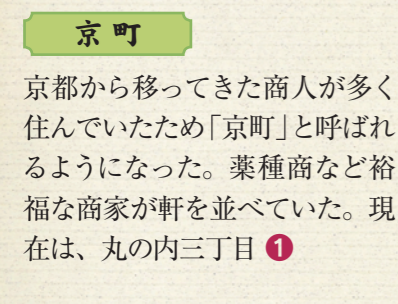
両替町

尾張藩の御用両替商、平田家が居を構えていたことにちなんで「両替町」と呼ばれるようになった。現在は、丸の内三丁目 ②



京町

京都から移ってきた商人が多く住んでいたため「京町」と呼ばれるようになった。薬種商など裕福な商家が軒を並べていた。現在は、丸の内三丁目 ①



伝馬町

江戸時代の交通の要地。大名などの荷物の運搬や幕府公用の書状の通信などを担う問屋場があった。現在は錦一・二丁目 ③



蒲焼町

築城手伝いの人夫を相手にした茶店が並んでいた。その中に蒲焼を売る店があったことから「蒲焼町」となったという説がある。現在は錦三丁目 ④



ほかにもある面白い旧町名

- 鉄砲町** 鉄砲を製造する職人が住んでいたのが名付けられた。現在の錦二・三丁目、栄二・三丁目 ⑤
- 八百屋町** 八百屋町…野菜を商う商人が多く住んでいたことから呼ばれた。現在の錦二丁目、栄三丁目 ⑥
- 木挽町** 名古屋城築城のための木びき小屋が建てられ、職人が定住するようになり付けられた。現在の丸の内一丁目 ⑦
- 上材木町** 堀川を利用して、木曾のヒノキなどの良質な材木が運ばれてきた場所。現在の丸の内一丁目、錦一丁目 ⑧

古地図プレゼント

北見さん作成の古地図（非売品）を江戸時代版、明治時代版セットにして20人にプレゼントします。はがきに「古地図希望」と明記して「ローズ1月号『古地図』係」まで。（宛先は4面）